

令和6年度 沖縄地方ダム管理フォローアップ委員会
議事要旨

1. 日 時：令和7年1月23日（木）14：30～17：00
2. 場 所：沖縄総合事務局2階災害対策室
3. 出席者：神谷委員長、大城委員、金城（栄）委員、古里委員、福田委員、立原委員
4. 議 事：「福地ダム、新川ダム 定期報告書（案）」
5. 主な意見

「福地ダム、新川ダム定期報告書（案）」について

○洪水調節

- ・気候変動に伴い降雨特性が大きく変化している。近年の雨量データなども十分に踏まえて、洪水調節の効果を評価していただきたい。
- ・大規模出水時には、ダム管理者の判断の迅速さが求められる。防災の観点において、平時からの地域とのコミュニケーション・連携などが非常に重要である。

○水質

- ・今回のデータから暖冬時に貯水池下層の溶存酸素量が減少することは明らかである。今後も温暖化が進行することは間違いのないため、引き続き注視して頂きたい。

○生物

- ・洪水時に福地ダム上流洪水吐から海域へ勢い良く放流されたため、放流先のサンゴなどの生息環境が攪乱される可能性がある。引き続き注視して頂きたい。